



カトリック六甲教会 教会報



子どもとともに歩む教会

助任司祭 渡辺徹郎, S. J.



今、日本各地の教会を見渡せば、子どもの姿が消えかけているところが少なくありません。教会側の責任もありますが、過疎化・少子化という日本社会が抱える問題がそのまま教会にも反映されていることも大きな要因でしょう。

六甲教会は都会型の教会ですが、少子化の影響は避けられず、教会から徐々に子どもの姿が消えつつあります。例えば、六甲教会には他の教会に比べて活発な教会学校がありますが、生徒の数は減少してきています。そして、教会学校が直面している問題で、生徒数の減少と同じかそれ以上に頭を悩ませているのが、教会学校のリーダー（＝世話人）数の減少です。従来、教会学校は大学生リーダーを中心に運営してきたのですが、最近は少子化の影響でその年頃の若者の数も減少しており、リーダーのなり手不足が深刻化しています。

主日のミサでも子どもや若者の数が減少してきているのを見て取れると思います。六甲教会では毎月1回、主日のミサを「子どもとともに捧げるミサ」としてありますが、ミサに参列している子どもはそれほど多くなく、「子どもとともに」という名目と現実にギャップが生じてきています。

この現状を打開するためには何か手を打つ必要があります。一度教会から子どもや若者の姿が消えてしまえば、その姿は二度と戻ってくることはないでしょう。教会に同世代の友だちが少なくなればなるほど、子どもや若者にとって教会は退屈な場となり、足が遠のいてしまうからです。

最近始まった試みとして「キッズの集い」があります。第4日曜日のミサ後に中高生と社会人のスタッフが、幼児～小学生の子どもと一緒に BBQ や焼き芋をしたりして楽しい時間を過ごすというものです。教会の子ども同士が兄弟姉妹としての交わりを深めることを目的としています。

これから始まる新しい試みとしては、中高生・青年バンドが子どもとともに捧げるミサ内で楽曲演奏を担当します。バンドといってもドラムやベースがいるわけではなく、それぞれができる楽器を持ち寄り、一緒に演奏するというものです。11月にデビュー予定です。最初は1曲だけですが、徐々に担当する楽曲数を増やせればと思っています。みなさまに温かく見守って頂ければ幸いです。

今何かをしなければ子どもの姿は教会から消えていく一方でしょう。子どもの姿がない教会は寂しくありませんか？ みなさま一緒に頑張りましょう！



2025年度 第4回 地区役員会 議事録(要約)

日 時：9月21日（日） 11:30～12:30

場 所：第1・2会議室

出席者：加藤主任司祭、堤小教区評議会議長、地区役員

1. 主任司祭挨拶

これからいろんな催しの多い季節になる。忙しくなるが皆さんで協力していただきたい。

2. チャリティーバザー

現在出店応募数 16 店。9 月末締切なので出店を計画している方は教会事務に出店申込書を提出して頂きたい。

3. 地区会再編プロジェクトチームチーム提案（地区会再編プロジェクトチーム）

（1）地区会再編プロジェクトチームの提案は下記内容で 2025 年 9 月 14 日開催の小教区評議会で承認されたので提案内容を実施していく。地区会の協力をお願いする。

①教会掃除

a. 毎週の教会掃除

地区会の当番制を廃止し、2026 年度から新体制に移行する。

そのためにはプロジェクトチームを募集する。

②教会大掃除

地区会主催から小教区評議会主催に変更する。今年 11/29（土）より実施する。

③イグナチオ喫茶

地区会のボランティアの運営とする。2025 年度中に新体制を構築する。

藤井敦子婦人会会長がキーパーソンとなり、広くボランティアを募集し、新体制移行を検討する。

③教会各行事

a. 新年会は開催しないこととする。10 時ミサ中で新成人のお祝いを行う。

b. 復活のお祝い会と初聖体のお祝い会

復活のお祝い会と初聖体のお祝い会は 2026 年 4 月 12 日（日）初聖体のミサ後、一緒にお祝い会を実施する。地区会役員と教会学校がお祝い会を担当する。

お祝い会の中で洗礼者と転入者の紹介を行う。

c. 堅信のお祝い会：地区会の主催から外し、小教区評議会主催とする。2 年に 1 度。

d. 司祭歓送迎会：お祝い会は実施しない。

10 時ミサ中に歓送迎の紹介等にとどめ、直後のイグナチオ喫茶等での茶話会とする。

④地区会再編

a. 高齢者（高齢で教会のミサに与けられないが教会との繋がりを求めている方）の把握

地区役員が動静確認と同時に、ご聖体・病者の塗油・ゆるしの秘跡の訪問の希望を確認する。

訪問希望者リストを主任司祭に 2025/10 月末迄に提出することとする。

主任司祭が順次訪問していく。訪問リストは順次更新していく。

b. 地区の再編

2026 年度は、地区割りを現状維持とする。

2026 年度の地区交流会にて地区会の役割が大きく軽減した状況を踏まえ、地区会の役割と意義（交流の場としての地区会など）を議論し、地区割りを討議してもらう。

4. 地区会再編プロジェクトチームチーム提案に対する決定事項

1) 掃除プロジェクトチーム

掃除プロジェクトチームは下記メンバーに決定した。地区役員以外にも適任者の推薦をお願いする。

メンバー：橋岡尚美（東灘北1） 林良一（東灘北1） 三垣恭子（灘南） 浅野真理子（灘北1）

2) イグナチオ喫茶

藤井敦子婦人会会長が教会報 11 月号でイグナチオ喫茶のボランティアを募集する。

ボランティアメンバーの応募人数等により 2026 年 5 月以降の運営体制を検討する。

2026 年 4 月 5 日（日）のイグナチオ喫茶まで地区会の当番が担当し、その後は新体制に以降する。

5. 10 月以降のスケジュール

10 月 19 日（日）バザー委員会

11 月 29 日（土）教会大掃除、教会大掃除後地区役員会

1 月 11 日（日）教会新年会開催なし

6. その他

1) 1 階倉庫と厨房（聖堂棟）の整理

藤井敦子婦人会会長が教会報 10 月号に廃棄処分品の確認願いを掲載し、有志を募り倉庫と台所の整理を行う。地区役員にも不用品、持ち主不明品の確認の協力をお願いしたい。

2) イグナチオ喫茶

・10 月 12 日：東灘北 1 ・11 月 2 日：東灘北 2 ・芦屋

・11 月 30 日献堂お祝いお茶会：灘北 1 ・北 ・三田

・12 月 7 日：灘北 2 ・阪神 ・1 月 4 日：東灘南

以上

第 5 回地区役員会 11 月 29 日(土)大掃除後 於:信徒会館 第 1・2 会議室

《 六甲教会 新聖堂献堂 30 周年ミサと茶話会のご案内 》

今年は現・聖堂の献堂 30 周年に当たります。11 月 30 日（日）は待降節第 1 主日のミサに合わせて献堂 30 周年も記念することとなりました。

ミサは加藤主任司祭と、山口教会より片柳弘史神父をお招きしての共同司式となります。

ミサ後にはイグナチオホールで、片柳神父による講話と茶話会を予定しています。

本ご案内は、80 周年記念事業の一環として行われるものです。前回の 50 周年記念誌以降の、現在に至る教会の歴史の中で、特に震災以降の歩みを振り返ってみようというものです。

（80 周年事業プロジェクトチーム）

11 月 30 日(日)の献堂 30 周年記念ミサ後に、六甲教会前庭にて、集合写真を撮ります。雨天の場合
は中止します。ミサ後は、聖堂外前庭に速やかに移動をお願いします。

撮影後は片柳神父様の講話やイグナチオ喫茶があります。撮影は 11 時 20 分頃を予定しています。

80 周年記念誌制作に向け、教会の歴史で残したいものを皆さんから募集します。イグナチオホールにパネルを設置しますので、「いつ頃」「誰が」「何が」「どうした・どうなった」などといった、なつかしい話題をご提供ください。教会の歴史年表に加えたいと思います。

- ・教会報 10 月号小教区評議会議事録でご紹介した会議室等使用については、以下の通りとなりました。

* 制定日：2025 年 10 月 14 日

カトリック六甲教会 聖堂使用規定

1. 目的および定義

本規定は、聖堂の祈りの場としての環境の保全ならびに聖堂の円滑な使用を目的とし、祈り以外の典礼行事などの聖堂の使用に適用する。なお、本規定の聖堂とは主聖堂および小聖堂をいう。

2. 使用目的

(1) 典礼行事

- ① 本教会の司祭が主宰するミサ、堅信式、洗礼式、結婚式、葬儀
- ② 典礼奉仕のためのオルガン練習等

(2) 主任司祭および議長、副議長、書記で構成される評議会役員(以下役員会)が宗教的意義があると承認した活動(本教会以外の司祭が主宰する典礼行事、信心業、音楽会、講演会なども含む)

3. 使用対象者

- (1) 六甲教員(司祭および信徒)
- (2) 役員会が承認した個人または外部団体(本教会の信徒の所属の有無には拘泥しない)

4. 使用時間

- (1) 教会事務室が業務を行っている日の午前 9 時から午後 5 時までとする。
- (2) 夜間の使用(午後 5 時以降)については、本教会主催の行事および活動のみとし、外部団体の使用は認めない。

5. 使用申請

- (1) 典礼行事以外の使用目的で聖堂使用を希望する場合の使用申請は「聖堂使用願い」を提出する。
- (2) 典礼奉仕のためのオルガン練習等の使用申請は、オンラインシステムを利用する。

6. 使用上の注意

- (1) 使用申請(「聖堂使用願い」)は、使用希望日の 1 か月前までに提出する。なお、葬儀等の典礼行事が入った場合は典礼行事を優先することとし、使用日時の変更または使用申請を解除する場合がある。
- (2) 使用許可後の変更ならびに取消は速やかに連絡する。

7. 規定の改定

本規定は、聖堂の使用状況、本教会ならびに使用者の要望等に応じて改定されることがある。

8. 適用

本規定は、2025 年 10 月 14 日から適用する。

以上

社会活動部 今月の予定

- 11 月 5 日(水) 10 時 手芸の集い 第 1、第 2 会議室 どなたでも参加できます。
- 11 月 17 日(月) 9 時半 ともしび会 教会台所(児童養護施設の子どもたちへのケーキ作り)
- ・ 11 月第 2 土曜日の炊き出しは、バザー前日のため、お休みです。

* 制定日：2025 年 10 月 1 日

カトリック六甲教会 会議室等使用規定

1. 目的および定義

本規定は、安心できる安全な教会の環境の保全ならびに会議室の合理的かつ円滑な使用を目的とする。
なお、本規定の会議室等(以下会議室という)とは、第 1～第 7 会議室、イグナチオホール、図書室、信徒会館ロビーおよび厨房(聖堂棟)をいう。

2. 会議室使用の原則

2.1. 会議室の用途

①教会活動

- 入門および養成講座、ならびに聖書研究等の教会主催の勉強会
- 各部および各会の活動、ならびに会合

②主任司祭、議長、副議長および書記で構成される評議会役員(以下役員会という)が地域ならびに公共性があると承認した活動

2.2. 使用対象者

①六甲教会員(司祭および信徒)

②役員会が認めた個人または外部団体(本教会の信徒の所属の有無には拘泥しない)

2.3. 使用時間

①教会事務室が業務を行っている日の午前 9 時から午後 5 時までとし、夜間(午後 5 時～午後 9 時)の使用については、役員会が許可しない場合がある。

②土曜日および日曜日以外の通常日は、使用申請のない会議室は施錠をする。

2.4. 使用申請

会議室を使用する場合は、「使用願い」による使用申請をしなければならない。

3. 使用申請手続き

①各部および各会の使用申請は、申込書「各部・各会施設使用願い」を提出する。

②外部団体等の定例使用の申請は年度初めに「カトリック六甲教会 施設使用願い(通年)」により、また定例以外の使用申請は「カトリック六甲教会 施設使用願い」を提出する。

③使用許可後の変更および取消は速やかに連絡する。

4. 使用上の注意

①会議室を使用する場合は、使用希望日の 1 週間前までに「使用願い」を提出する。なお、各部および各会の使用に限り 1 週間前までに申込書の提出が困難な場合は、電話およびメールによる申請も可とする。また、外部団体等の定例使用の場合は、使用希望日の 1 週間前までに事務室に使用の日時および会議室の確認をしなければならない。

②通常日に会議室を使用する場合は、事務室で鍵を受取り、使用後は速やかに事務室に返却する。

③通常日の午後 5 時以降の会議室の使用については、事務室が事前に解錠する。使用後は司祭館へ使用終了を連絡する。

④会議室使用後、エアコン電源の切断、消灯または窓の施錠などを怠った活動については、その後の使用を許可しない場合がある。

⑤外部団体の会議室での飲酒および飲食は禁止する。違反団体には使用承認を解消する場合がある。

5. 規定の改定

本規定は、会議室の使用状況、教会ならびに使用者の要望等に応じて、改定する。

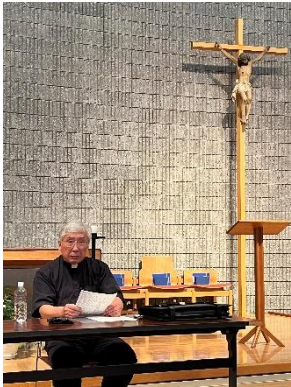
6. 適用

本規定は、現在鍵の付いている会議室には 2025 年 10 月 1 日から適用する。信徒会館ロビーを除くその他の会議室については、鍵が付き次第適用する。

以上

《 加藤神父の 信徒のための典礼のお話(ミサについて) 》 10月5日(日)

予定されていた「典礼奉仕者のつどい」を拡大して全信徒のための総括的なお話を、という趣旨で、加藤主任司祭から「ミサについて」のお話を聴きました。以下要約です。



ミサの流れ、リズム、音楽、そして説教。それらが一体となってみんなの心が一つになることが大切。肝心なことのひとつに「心を鎮める」、ということがある。ミサの始まる前の静粛、沈黙は大切である。神父ひとりが祈るのではない。みんなが一致してミサに与ることが求められる。また、「自分が何を言いたいではなく神が何を言われるか」と心得たい。

「聖書」は不変のものであるが、変わるもの、変わったものは数多ある。第2バチカン公会議以前と以後では、典礼の様相が大きく変化した。ラテン語ミサから母国語ミサへの移り変わり、主の祈り、アヴェマリアの祈りの文言も変化している。ミサ中の信徒の立ち居振舞い、例えば「立つ、座る、ひざまずく」などの動作の改革、ご聖体を拝領する時の受け方もいろいろあるがそれにこだわることはない。その国の文化に合わせて典礼の式次第も改訂を重ねられている。昔の伝統を懐かしがることもない。

ミサはイエスとともに食事をするという意味がある。言葉の典礼はことばによる「もてなし」である。祭壇は食卓、信仰宣言を経て主のからだをいただいて、さらに全世界へ派遣されるのだ。という流れを理解していただきたい——。とお話しされました。また(日本の)司祭団の取り決めた細かいルール、①栄光の賛歌は他の歌詞では歌わない②聖書朗読は洗礼を受けた信徒が行う③ひとつの朗読箇所を複数の朗読者が読むことはしない(例外あり)③答唱詩編の曲を置き換えてはいけない。④説教を信徒に委ねることは出来ない。など一部が紹介されました。

そのほか神父は、司祭叙階式でのご自身の感動体験、説教のテーマにいつも頭を悩ませること、六甲教会へ赴任しての印象などをまじえ話され、一時間弱の講話となりました。(広報部 詫 洋一)

《 祈りと音楽の集い～オルガン移設 15 周年～ 》 10月19日(日)

2010年6月に辻オルガン Op. 8 が移設されてから15年の月日が経ちました。いつの間にか、ずっとそこにあったような面持ちで佇んでいます。長年大切に使われたものを移設費用のみという条件でお譲りくださいました日本基督教団東梅田教会と、協力してくださった当時の主任司祭の松村神父様、評議会の皆様に感謝致しております。

オルガンは日々の典礼になくてはならない存在です。パイプオルガンという楽器はとてもアナログなつくりですので、大切にメンテナンスをしていけば500年経っても演奏し続けることができるものです。そして、「風」(pneuma 風、空気、そして聖霊を表す)で鳴る楽器、人の声に近いものです。この「風」の息吹を感じることによって、より良い祈りへと会衆を誘うことができるように奉仕者一同、日々励んでおります。また、移設された年の9月初めに、東梅田教会主任オルガニストの久保田清二氏を迎えて「お披露目演奏会」を開いて以来、「オルガンメディテーション」から、「祈りと音楽の集い」と名前を変えて、コロナ禍を除き、年に4度ずつの集いを開催してきました。もう60回ほどになるのでしょうか。今回の集いでは、教会のオルガニスト7名が、独唱奉仕者の二人の先唱と共にバッハのクラヴィーア練習曲集第3巻より演奏しました(写真)。少しでも多くの方が、教会へ足を運んでくださるきっかけになればと思い、これからもより良い催しを続けていきたいと思っております。



(オルガン奉仕者 三浦 優子)

今後の集い: 11月1日(土) 10時半ミサ後 諸聖人の日ミニコンサート
12月21日(日) 午後2時 クリスマス音楽の集い
12月25日(木) 10時ミサ後 ミニコンサート

≪ 壮年会・婦人会主催 教会遠足は岡山教会、後樂園 ≫10月18日(土)



毎年恒例の教会遠足では10月18日(土)、聖年の巡礼指定教会であるカトリック岡山教会(聖ディエゴ喜斎記念聖堂)を、加藤神父様と32人の皆さんで訪問しました。旅の無事を祈って出発した一行のバスは、山陽道を約2時間、岡山市街に入りました。

岡山教会の歴史を教えてくださいましたのは、同教会信徒の濱口氏。教会は1880年に創設されるも、第二次世界大戦で聖堂全焼、1951年に新聖堂が出来たところから信者数は増え続け、今は約2,300人が在籍すると言います。2030年には創立150周年という歴史のある教会です。現在の聖堂は2001年に献堂されました。聖堂壁面には、合わせると33畳にもなる、色彩豊かで見事なステンドグラスがはめ込まれています。祭壇に向かって左側には「聖霊降臨」をテーマに12使徒に降り注がれる光が、また右側には、神との契約のしるし「虹」とノアの箱舟が描かれています。後方の壁面にも7つの秘跡と、「聖体」、「堅信」、「洗礼」を表す小さなステンドグラスがはめ込まれていました。これらの製作にかかわった、信徒の加治屋さんが解説をしてくださいました。また、ミサの間中、オルガンで祈りを支えてくださった同教会オルガニストの藤井さんは、六甲教会の音楽チームとも交流のある方でした。ごミサのあとは後樂園で昼食、そのあとは岡山城を臨む庭園を散策したり、竹久夢二記念館に行ったりと、自由行動を楽しみました。

帰路は渋滞もなく、定刻に帰神することができました。(広報部 大上尚子)

≪ 秋の黙想会 ≫ 霊操第4週～シノドス的な教会を目指して～10月25日(土)

2023年5月から始まった春・夏年2回の英隆一郎神父の黙想会(全6回)が、10月25日、最終回を迎えました。当時主任司祭を務めておられた英神父は今年4月に長府教会へ異動、さらに最近、防府教会に移られました。

イグナチオの霊性を学ぶ最後の黙想会もこれまでと同様、10時に開始され、30分間の講話と30分間の黙想が4度繰り返されました。第1講話ではルカによる福音24章13-35節を題材に、よみがえったイエスさまに気づかない弟子たちの様子が描かれています。復活されたイエス様がどういう場面とともに歩んでくださったのかを思い起こすようにして黙想しました。



第2講話は、『霊操』(231-237)で語られることが珍しいとされる“愛を得るための観想”についてでした。私たちは神様からの恵みを受けているのに、それを覚えていないのが悲劇だとされました。神の姿に似せて作られた私たちが神の神殿であることへの気づきを述べられました。第3講話では、ヨハネによる福音21章1-19節が取り上げられ、人生の苦難の時にこそ仲間と体験を共にしてつながることが大切とされ、主の恵みは案外身近にあるのだとされました。

第4講話では再び『霊操』に戻り、イグナチオ・ロヨラの大切な教えとしての、「日々の振り返り」に言及されました。大切なのは、神のみ旨に従って生きているか日々究明を行い、識別しながら生きていくとだとされました。

英神父は、ご自分の「究明ノート」をお見せになり、毎日、40年間書いていること、常に携帯できるような大きさのノートであることを、ご紹介くださいました。「皆さんも、この1週間あるいは1か月のことを思い出して、どういう心の動きがあったか、記してみませんか。」と勧められました。振り返ることで(神様からの愛が)分かることがあります、とされました。(広報部 大上尚子)

《 図書室からのお知らせ 》 9・10 月に入った図書

☆回勅 主はわたしたちを愛された 教皇フランシスコ カトリック中央協議会

第2回シノドスの2024年月

日本語訳は25年10月に発行

☆獄中句日記「死なぬ死刑囚」 西 武雄 生命山シュバイツァー寺

2025年西 武雄さん 処刑後50年目を迎えて

☆祈りへの旅立ち マザーテレサに導かれて 片柳 弘史著 ドンボスコ社

☆密航 最後の伴天連シドッテイ 古居 智子著 啓文舎

☆スミレのように踏まれて香る 渡辺 和子著 朝日文庫

☆神のいつくしみ 苦しみあわれむ愛 片山はるひ・高山貞美 編著 日本キリスト教団出版局

☆イエスの聖テレサ 霊的な人々の母 トマス・アルバレス著/松田浩一訳 サンパウロ

☆結婚 生涯ともに誠実に イシドロ・リバス著 ドン・ボスコ社

☆ニコラオ・プレシエル神父の講話Ⅱ 小野崎良子編 教友社

神父様の話で 宝を知り 信仰が本当にすっきりはつきりました。

☆小さきものからの光 ジャン・パニエ著/長沢道子訳 あめんどろ

☆文学における神の物語 上智大学キリスト教文化研究所編 リトン

☆祈り — 東方の伝統に学ぶ アンドリュー・ライター著/木鎌安雄訳 新世社

☆かみさまへのてがみ 谷川俊太郎訳/葉祥明 絵 サンリオ

☆いのちの人の道 司祭叙階五十周年の追想に 高野利雄

☆列福ミサ 神のしもべ 高山右近

☆前田万葉句集Ⅱ 雲の峰 前田万葉著 かまくら春秋社

☆病めるときも 8 病と向き合うすべての人へ 「カトリック生活」別冊 ドンボスコ社

☆みんなで育む信仰 片山はるひ・原敬子 編著

現代におけるカテキズムの可能性 キリスト教新聞社

☆渡辺和子の言葉 80 「自分らしい花を咲かせる」 桑原晃弥著 リベラル社

☆日常で神とひびく 柳田敏洋 ドンボスコ社

☆日常で神とひびく ② 柳田敏洋 ドンボスコ社

☆「捨てる」という霊性 聖フランシスコと一遍上人 家田足穂著 オリエンズ

☆聖書の物語論的読み方 J.L.スカ著 佐久間 勤/石原良明 訳

新たな解釈へのアプローチ 日本キリスト教団出版局

《お願い》

※図書貸し出しの際、図書のラベルは過去のものとしてお考え下さい。今後は

A1, A2, A3, … B1, B2, … C1, … の棚記号 の利用をお願い致します。

※教会に図書を寄付・寄贈される方は、信者や教会図書室利用者に、その書籍の推薦文や、教会図書室に相応しい旨のアピールを添えて事務所に申し出ください。

※その他 お気付きのこと、希望の図書等ご遠慮なくお知らせ下さい。メモにお書きいただき、図書室内のご意見箱にお入れ下さるか、事務室にお預けください。

寒い！ おじさんたちに愛の手を

今年もカトリック社会活動神戸センターから野宿者、生活困窮者支援のお願いがきています。

ご家庭で眠っている毛布、寝袋、タオルケット、敷パット、防寒着、靴下、マフラー などがあまりましたら、11月23日（日）から、12月14日（日）までに聖堂入口の箱にお入れ下さい。

汚れや、臭いがついているものはご遠慮ください。

社会活動部

教会報 編集部員 募集中

教会報と一緒に作りませんか。誌面作りに参加してみたい、写真を載せたい、といった形でもご参加できます。教会事務室にご意見・ご希望をお寄せください。（広報部）

レイチェル・カーソン著/上遠恵子訳（新潮文庫）

「センス・オブ・ワンダー」を読んでのわかしあい

紹介者 梶 川 邦 子
(マリアの宣教者フランシスコ修道会)

70 年ほど前に化学物質の環境汚染の危険を訴えた名著「沈黙の春」を書いた女性生物学者によるエッセイである。幼い甥のロジャーと一緒にアメリカの東海岸のメイン州の海岸や森の自然に触れる中で経験する驚き「センス・オブ・ワンダー」——嵐の夜や森の朝、満月の夜、渡り鳥、森のコケ類などなど…視覚、嗅覚、触覚すべての感覚から伝わってくる自然の生物や事象への驚き、美しさなどを子供と一緒に発見していく様子が美しい描写で綴られている。

自然に触れる機会がだんだんと少なくなっていくなかで、それでも周りの自然の変化に注意深く気づくセンス・オブ・ワンダーを保ち続けたいと勿体ないと思った。読みながら今までの人生の中で感動し、私を豊かにしてくれた自然との出会いの風景の数々を思い出した。

以下に読後心に残った文章の引用を紹介しよう。（68 ページより）

「人間を超えた存在を意識し、おそれ、驚嘆する感性をはぐくみ強めていくことには、どのような意義があるのでしょうか。自然界を探検することは、貴重な子供時代を過ごす愉快で楽しい方法に過ぎないのでしょうか。それとも、もっと深い何かがあるのでしょうか。

私はそのなかに、永続的で意義深い何かがあると信じています。地球の美しさと神秘を感じ取れる人は、科学者であろうとなかろうと、人生に飽きて疲れたり、孤独にさいなまされたりすることはないでしょう。たとえ生活の中で苦しみや心配事に出会ったとしても、必ずや、内面的な満足感と生きていることへの新たなよろこびへ通ずる小道を見出すことができると信じます。

地球の美しさについて深く思いを巡らせる人は、生命の終わりの瞬間まで、いきいきとした精神力を保ち続けることができるでしょう。

鳥の渡り、潮の満ち干、春を待つ固い蕾の中には、それ自体の美しさと同時に、象徴的な神秘が隠されています。自然がくりかえすリフレイン——夜の次に朝が来て、冬が来れば春になるという確かさ——の中には、限りなく私たちがいやしてくれる何かがあるのです。」

『センス・オブ・ワンダー』は、三水会（有志による読書会）の9月の例会で取り上げました。会ではメンバーが紹介・推薦するいろいろなジャンルの本を読み、読后感、疑問、新たな気づきなどを分かち合っています。

この会にご興味があれば、是非一度ご参加ください。

日時：毎月第3水曜日午後1時30分～3時30分

場所：教会第5会議室

連絡先：tel. 078-882-1733 / kunikosoga@aol.com（曾我邦子）

教会学校便り☺☺☺子どもたちも出店！ チャリティーバザーをお楽しみに！

11月9日（日）に行われるチャリティーバザーにおいて、教会学校では今年も、子どもたちに向けたゲームコーナーをします。

的当てやコイン落としなどの楽しい遊びを、信徒会館2階図書室で行います。

また、保護者の方と子どもたちが協力して作ったキャンディ・レイの販売も行います。是非お立ち寄り下さい。（辻原 華）



私の好きな聖書のことば



「第一の掟はこれである。『イスラエルよ聞け、私たちの神である主は、唯一の主である。心を尽くし、精神を尽くし、思いを尽くし、力を尽くしてあなたの神である主を愛しなさい。』第二の掟はこれである。『隣人を自分のように愛しなさい。』この二つにまさる掟はない。」

(マルコによる福音書 12 章 29-31 節)

この聖句を標語とする、自由、個性的な友のいる学校で、キリストを主とする生き方に憧れて受洗。良い人と結婚できます様に一の祈りは聞かれ、本当に立派な夫は、試練があった中で受洗しました。六甲教会に二人で通えた日々は幸せでした。しかし、夫の帰天後、私自身の愚かさ罪深さを思い知り、主が良しとされる生き方をしたいと、全知全能の父なる神、哀れみの主イエスキリスト、聖霊様、聖母マリア様、守護の天使、聖人方の助けを信じ求めて、ひたすら祈りつつ、残された人生を感謝しながら過ごしています。

マリア・ヨゼフィーナ 都倉 久子

イグナチオ喫茶 運営スタッフ募集

地区会の役割の見直しにより、来年度よりイグナチオ喫茶の運営を信徒の皆様に担っていただくこととなりました。

今後のことは、参加を表明いただいたスタッフの方々と相談しながら進めて参りますが、3人以上のグループか、個人でスタッフ登録をいただき、当番制で月1度の開催を考えております。多くの方に応募いただければ、少ない回数の担当で済むと思います。

現在のイグナチオ喫茶では、9時30分ごろから準備を行い、コーヒーを抽出し、10時ミサ終わりに開店できるように準備を行っております。ご利用の人数にもよりますが、後片付けをして12時には終了できる作業になります。

イグナチオ喫茶は、信徒の方に少しの時間ではありますが、交流の場を提供しております。また、イグナチオ喫茶開催時には、社会活動部所属の各ボランティア・グループが出店をする“ふれあい広場”も開催されています。教会活動に思いを寄せ、ご協力よろしくお願いいたします。

イグナチオ喫茶コーディネーター 藤井 敦子

神戸地区社会活動委員会（シナピス神戸）主催

クリスマス チャリティーコンサート

加藤主任司祭、渡辺助任司祭も出演

12月6日（土）12:30 開場 13:00 開演

カトリック神戸中央教会 主聖堂 入場無料



野宿者、生活困窮者のために活動されているカトリック社会活動神戸センターを支援するためのチャリティーコンサートです。出演者はボランティアで、今年は六甲教会から田島淳之介さん（オルガン）と、山根通弘さん（ギターとヴォーカル）が初出演されます。司祭バンド Amens もどうぞお楽しみください。



チャリティーバザー

どなたでもご自由にお越しください

2025年11月9日(日) 10時30分後 11:15～15:15

場所: カトリック六甲教会

神戸市灘区赤松町 3-1-21 ☎ (078)851-2846

出店場所: 信徒会館 ロビーと2階

イグナチオホール

食料品 (イタリア食材、手作りケーキ、クッキーなど)、衣料品、
アクセサリー、手芸品、陶器、漆器、キャンドル、雑貨、カード など

喫茶、軽食

(焼きそば、カレー、クリームシチュー、サンドイッチ、寿司、フランクフルトなど)

・ワークショップ オニヤンマ君作り (防虫グッズ) 信徒会館 1F

・ワークショップ マグネット帽子 信徒会館 1F

・朗読の集まり (読み聞かせ) 信徒会館 1F

・オルガン体験 [バイブオルガンを鳴らしてみよう!] 11:30 / 13:00 主聖堂

・教会案内ツアー 11:00 / 14:00 聖堂前の庭に集合

・カトリック相談・質問・紹介コーナー イグナチオホール前

収銀金は全額チャリティー先に献金されます。

主が献金先 自然災害、紛争地域支援

お車でのご来場は極力お控え下さい。

所定の台数を超えた場合は駐車できません。

☆当日は車でのご来場はできるだけお控えください。

☆車両駐車の際は、左折入庫、左折出庫の厳守をお願いします。

バザー出店一覧表

2025/11/09

出店名と内容

イグナチオホール 軽食、食料品	第3会議室 雑貨、手芸品 焼き菓子
①ラザロとマルタのお食事処 サンドイッチ、巻寿司、フランクフルト、ビール	⑮ひらめの家 トートバッグ、雑貨、焼き菓子
②かなの家のクリームシチュー クリームシチュー	⑯原町教会コンコレイア 手芸品
③子供を持つ親の集まり カレー、焼き菓子	⑰まのぼっこ 雑貨、シスターの手作り品
④都倉久子の店 クッキー、スダチ	第4会議室 衣料、アクセサリー、雑貨、陶器、骨董
⑤ AIC-JAPAN スイートポテト、畑で採れた作物	⑱なんくるないさ～ 衣料、アクセサリー、エスニック中心のお店
信徒会館1F ワークショップ、食材、キャンドル	⑲ひまわり 雑貨、陶器、レモン
⑥オニヤンマ君作り 防虫グッズ(オニヤンマ君)作り	⑳骨董福島 骨董品(主に漆器)
⑦朗読の集い 読み聞かせ	第1・第2会議室 手芸品、雑貨、クリスマスマーケット、クッキー
⑧T.T.P.(TON TON PAPY)) マグネット帽子制作キャンドル販売	㉑手芸 手芸品の販売
⑨東条湖の家 イタリア食材	㉒灘南・神戸西有志 雑貨
聖堂風防室、イグナチオホール前、聖堂	㉓釜ヶ崎子供の里支援グループ 雑貨、ジャム
⑩師イエズス会 本、カード、雑貨	㉔ 荒野の泉(難民支援の会) クリスマスマーケット、豚まん
⑪渡辺神父+信徒1名 カトリック質問・相談・紹介コーナー	㉕ありがとう 雑貨
⑫音楽チーム オルガン体験 11:30～ 13:00～	㉖出会いの場 雑貨、クッキー
図書室	㉗本田由美子の店 メジャー、エプロン、エコバッグ
⑬教会学校 ゲームコーナー	聖堂前庭
司祭室前	㉘教会ツアー 11:30～ 14:00～
⑭教会学校 保護者と生徒の作品販売	㉙中高生会 焼きそば、フランクフルト、かぼちゃのプリン

【2025 年 11 月行事予定表】

日	月	火	水	木	金	土
						1
						諸聖人ミサ 7:00 10:30 聖体顕示 10:00 ミニコンサート 10:30 ミサ後
2	3	4	5	6	7	8
死者の日 手話付きミサ 10:00 イグナチオ喫茶 秋の墓参 12:00	教会事務室 休み (文化の日)				初金ミサ 7:00 10:00 ◎灘南・神戸西	教会学校休み 社会活動部 炊き出しお休み ◎土曜班
9	10	11	12	13	14	15
ラテラノ教会の献堂 チャリティー バザー11:15 財務委員会 15:30			三日月会 例会 13:00		◎灘西・中央	
16	17	18	19	20	21	22
年間第 33 主日 七五三祝福 10 時ミサ中	貧しい人のための 世界祈願日 聖書週間 (～23 日)				◎東灘北 1	
23/30	24	25	26	27	28	29
王であるキリスト 世界青年の日 小教区評議会 14:00 /待降節第 1 主日 献堂 30 周年記念ミサ	23 日クリスマスの飾り付け 10 時ミサ後 教会事務室 休み (勤労感謝 の日振替休日)				◎定期清掃	教会大掃除 9:00 地区役員会 (教会 大掃除終了後) 教会学校休み

◎印は掃除当番地区 (午前 7 時時点で気象警報が発表された場合は中止)

【編集後記】

◇この 10 月は、初の女性総理の誕生、日本人二人のノーベル賞受章・・・など、ドキドキする話題が多かったと思います。そして、これから教会行事がぎゅっと詰まった 2 か月を迎えます。よい一年だったと言えるよう、それぞれのペースで頑張りましょう。(N.O.) ver1.1

次回 12 月号の印刷・発行は 11 月 29 日 (土) 10 時半からです。 原稿は毎月 15 日ごろまでに、教会受付へご持参いただくか、FAX、メールをお願いします。 (renraku@rokko-catholic.jp)。皆さまからのご寄稿をお待ちしています。 ・教会ホームページ (右の QR コード) をご登録ください。教会の行事などが御覧になれます。 毎月の教会報はホームページではカラーでご覧になれます。	カトリック六甲教会 〒657-0061 神戸市灘区赤松町 3-1-21 電話 078-851-2846 FAX 078-851-9023 http://www.rokko-catholic.jp 発行責任者 加藤 信也 編集 集 広 報 部 
--	---